

プラレール博 in NIIGATAで広報活動



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、5月3日（金）新潟市産業振興センターで開催された「プラレール博 in NIIGATA」において、陸上自衛隊第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 堀口大助）による車両展示等支援を受け、広報活動を行いました。

これは、「TeNYテレビ新潟」が主催する子供達に人気のプラレールを集めた催しで、昨年の「トミカ博」に続き、毎年交互に実施されているGW恒例のビッグイベントです。来場する子供達や保護者の方々に防災を呼びかける場として、自衛隊車両展示の依頼を受け、会場駐車場スペースを利用し、「指揮通信車」や「軽装甲機動車」「高機動車」「1/2tトラック」「偵察用バイク」5台を展示するとともに、新潟地本も制服試着コーナーやスタンプラリーなどの広報ブースを設置しました。



当日会場には小さなお子様連れ等、7929名（主催者発表）が訪れ、プラレールやトミカのおもちゃを持ちながら大きな自衛隊車両を興味津々に見学し、ミニ制服ブースでは制服を試着して記念撮影を楽しんでいました。また、新潟地本キャラクターの「ヒカリンマモル君・マイちゃん」の登場に子供達は大喜びし、家族全員で写真を撮りハイタッチをするなど、会場は大盛り上がりで大いに自衛隊をPRできました。



新潟地本は、今後も各種イベントを通じて、ファミリー層への自衛隊に対する親近感の醸成及び理解を深化させるとともに更なる防衛基盤の充実・拡大を図っていきます。